

会報

65号

れきふ

函館の歴史的風土を守る会会報

No. 65 H11. 11.30

発行所 函館の歴史的風土を守る会

事務局 函館市五稜郭町43-9

五稜郭タワー株式会社(両角)

電話(0138)51-4785

編集 れきふう編集部



『函館山(旧陸軍要塞)の勉強会及び見学会』

さる 9月25日(土)2時より女性センター(東川町)に於いて函館山(旧陸軍要塞)の勉強会が行われました。井潤 裕氏(北大建築史意匠学研究室博士課程3年)の「函館要塞の100年 ―その知られざる軌跡―」と 富岡 由夫氏(函館産業遺産研究会会長)の「汐首岬砲台」の研究発表が行われました。70名の出席者があり、質疑も活発に行われました。また、6時から元町カールレイモン店でお二人の先生を囲んで懇親会も開催され、函館山についての話題で大いに盛り上がりました。

前日に引き続き9月26日(日)9時より函館山(旧陸軍要塞)の現地見学会が60名の参加で行われました。函館山管理事務所前から薬師山砲台・御殿山第一砲台・ツツジ山第二砲台・千畳敷砲台、指令官室を見て回りました。土塁の石組みやコンクリートなど崩れかけている箇所があり、今後これらの要塞をどの様に活用するかを含め、早急に補修の必要があるのではないかと。

1999年9月25/26日

■函館山（旧陸軍要塞）勉強会・見学会資料より

函館要塞の100年 -知られざる土木遺産の軌跡-

【要塞とは？】

・要塞…敵軍の侵入を防ぐため要害の地に築いた砦のこと
・築城…ある土地の戦術的価値を高めるためにその土地に適合する防御的性格の強い施設配備を行うこと。

- ・永久要塞…平時から戦略戦術上の重要地点に堅固に構築される要塞のこと
- ・日本の永久要塞は「沿岸部の重要拠点＝主要港湾」を防御するために建設された。
- ・多くは日清戦争の賠償金で建設された。
- ・函館要塞の目的は「函館港」の防御
- ・側防堡壘…要塞内を防御し敵の侵入を防ぐための砲台 臼砲を装備する
- ・砲戦砲台…敵艦船を攻撃するための砲台 高所の場合、榴弾砲を
低所の場合カノン砲を装備

【要塞計画の変遷】

五稜郭・弁天砲台では函館を防衛できない。（戊辰戦争の反省）

明治10年 函館港防御策 フランス人陸軍軍事顧問ミュニエーの策定

明治24年 函館港防衛計画 陸軍参謀本部 →函館山を要塞化する計画案

明治29年 函館要塞防御計画 陸軍参謀本部(要塞建設委員会)

【函館要塞施設の現存状況】

薬師山堡壘・御殿山第一砲台・御殿山第二砲台・千疊敷砲台・立待岬堡壘・穴瀬観測所
現存するものが多いが、保存対策がなされていないため、破損や不法行為が目立つ。

【津軽要塞への改変】

バルチック艦隊の来航により「海峡防衛」必要性を痛感

「函館要塞」は「津軽要塞」に改変され、海峡の要所に5砲台が設置される。

函館要塞のほとんどは「除籍」すなわち廃止砲台となる。終戦時備砲は4門のみ。

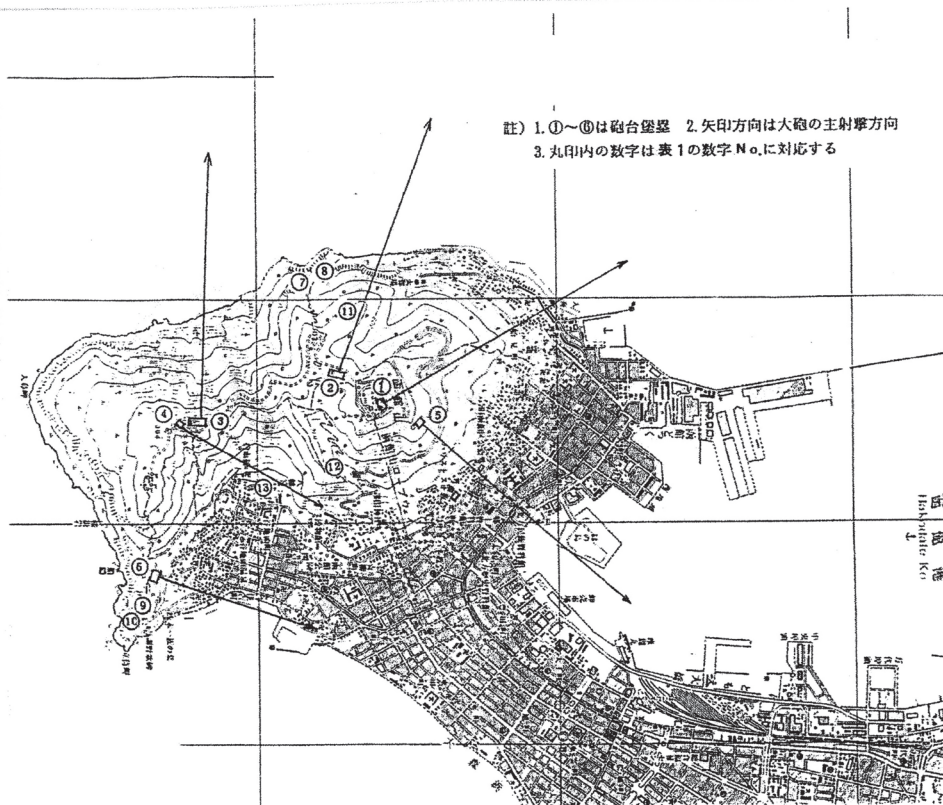
函館要塞砲台の建設状況

函館港防御計画	建設予定	実際の砲台名	着工時期	竣工時期
C 薬師山閉鎖堡	明治30年	薬師山堡壘	明治31年6月25日	明治32年10月30日
D 御殿山閉鎖堡	明治30年	御殿山第一砲台	明治31年9月3日	明治34年2月28日
E 千疊敷北方閉鎖堡	明治31年	千疊敷砲台	明治31年9月15日	明治34年1月29日
A 弁天砲台	明治31年		(建設中止)	
C' 御殿山閉鎖架	明治32年	御殿山第二砲台	明治31年6月25日	明治33年10月31日
F 谷地頭南方閉鎖架	明治32年	立待堡壘	明治34年9月4日	明治35年10月30日
B 御殿山西北柵舎	明治32年		(建設中止)	

(『津軽要塞築城史』の記述に基づいて作表)

■函館山要塞施設建設位置

- ① 御殿山第1砲台
- ② 御殿山第2砲台
- ③ 千疊敷砲台 1
- ④ 千疊敷砲台 2
- ⑤ 薬師山砲台
- ⑥ 立待堡壘
- ⑦ 穴洞電燈
- ⑧ 穴洞低地観測所
- ⑨ 立待電燈
- ⑩ 立待低地観測所
- ⑪ 高龍寺山 観測所
- ⑫ 水元谷周辺施設
- ⑬ 要塞司令部



右整理法案にて、初めて津軽要塞の台頭となり而して津軽要塞の新設に連れて従来の函館要塞を廃止することを画策せらる、即ち改編の要旨は左の如し。

一、津軽要塞に於ける敵艦の通行を妨害し、以て本土と北海道の連絡交通を確実ならしめ、且海軍の作戦を容易ならしむるの目的を以て新たに津軽要塞を新設す

二、津軽海峡を防御せば、ほとんど函館防御を施すの必要なきが如きも、峽幅頗る大にして且この地方には屢々蒙氣の襲ふ所となるを以て、我が監視を脱して函館に向かひ、小企図を試みんとする敵になきに非ざるを以て、万一の場合を顧慮し一二、従来の砲台を残置す

三、津軽要塞の建設と同時に函館要塞の名称を廃し、一部残置の防御營造物は津軽要塞に改編す

津軽要塞の新設砲台

名称	備砲(砲座)	起工・竣工日	建築費	工事掛官	標高
大潤崎第一砲台	30 加農砲×2 (砲塔 2)	(着)大 13.9.15 (竣)昭 4.9.14	400,913 円 905	支:秋月・平岡・小野 主:藤沢・岩崎・松岡・間	45.20 m
汐首崎砲台	30 榴弾砲×4 (砲座 4)	(着)昭 4.6.16 (竣)昭 8.3.15	266,167 円 304	支:平岡・小野 主:名沢・岡崎	16.00 m～ 22.00 m
白神崎砲台	15 加農砲×4 (砲座 4)	(着)昭 10.5.1 (竣)昭 11.10.31	157,142 円 550	支:野村 主:布施	124.0 m～ 140.63 m
龍飛崎砲台	15 加農砲×4 (砲座 4)	(着)昭 11.4.12 (竣)昭 12.12.31	184,991 円 032	支:野村・高瀬・宮内 主:佐藤	99.50 m～ 100.50 m
汐首崎第二砲台	15 加農砲×4 (砲座 4)	(着)昭 13.2.2 (竣)昭 15.6.30	114,985 円 580	出張所長兼主任官 宮内・大羽・木村	126.00 m～ 130.00 m

〔注記〕 備砲欄先頭の数字は口径を示す。加農砲:カノン砲、支:築城支部長、主:工事主任官。『津軽要塞築城史』に基づき作表。

理想の朝ごはん

厚生省の調べによると、朝食をとらない人は国民全体の8.3%。20代では男性32.9%、女性15.9%にものぼり、その数は年々増えてい
るそうです。時間がない、食欲がない、それにそもそも、なぜ朝食が大事なの? そんなあなたも朝食を食べたくなる情報を今月はお届けします。

朝ごはんのなぜ? なに?

Q 朝食ってそんなに大事なの?

A 脳は眠っている間も働いているので、朝は軽い栄養不足の状態にあります。また、目覚めに頭がボーッとしているのは、睡眠中の低体温状態から抜け出せないため。そこでエネルギーを補給し、代謝を促して体温を上昇させ、頭と体の機能を活性化させるわけです。食べないと、頭も体も眠ったまま午前中を過ごすことに!

Q 食べさえすれば何でもいいのか?

A 脳を活動させる唯一のエネルギー源は、糖質。だから朝は、ご飯やパンなどの炭水化物をしっかりとした方がよいのです。集中力を高めるタンパク質、抗ストレス作用があるといわれるビタミンC、エネルギー代謝を助けるビタミンB群も欲しいところ。



Q 甘いものは夜食べると太る。朝食代わりにしてもよい?

A 糖質が脳に良くても、朝一番にお菓子はNG。炭水化物の多糖類と違い、砂糖の二糖類や単糖類は分解が早いので、血糖値が急上昇→反動でインシュリンが分泌され急下降、という現象が起こり、集中力不足や疲労の原因になるそうです。

Q 1日に必要な栄養がとれれば、昼・夜だけでもOK?

A カロリーはとれてもバランス面が問題。よくいわれる「1日30品目」を2食で目指すのは困難でしょう。朝を抜く人ほど、夕食の時間が不規則で栄養バランスも偏っているという調査結果も出ています。

Q ダイエット中なので朝は食べない!

A 女性に多いのですが、実は逆効果。体が飢えた状態が続くので、栄養を吸収・蓄積しやすくなってしまいます。例えば同じエネルギー量を摂取するのでも、回数を減らして1度に大量に食べる「まとめ食い」は、3食きちんと食べる場合より太りやすいそうです。



Q 起き抜けに食べる
と胃がもたれる...

A お腹が空っぽの状態が続くと空腹中枢が刺激され、胃酸が過剰に分泌されます。これでは余計、胃に負担をかけることに。レトルトのお粥、ヨーグルト、バナナ、時間がなければ牛乳1杯でも、消化のよいものを選び、まずは食べる習慣をつけましょう。生活のリズムが整い、目覚めもきつとよくなるはず。

【案 内】

□1999年南北海道考古学情報交換会
第20回記念 シンポジウム

～北日本における縄文時代の墓制～

開催日: 12月4日(土)・5日(日)

会 場: 湯川温泉 花びしホテル

問い合わせ先:

南北海道考古学情報交換会事務局

(森町教育委員会 藤田

TEL01374-2-2186)

第20回記念シンポジウム実行委員会

(市立函館博物館五稜郭分館

佐藤 TEL0138-51-2548)

□初の「近代化遺産」調査がトブッ
建物の見方・しらべ方シリーズ

[近代産業遺産] 価格3,024円

[近代土木遺産の保存と活用]

価格3,969円

【江戸時代の寺院と神社】

価格4,404円

申込先 〒167-8088 東京都杉並区

荻窪4-30-16 (株)ぎょうせい

営業第一課(小串)

TEL 03-5349-6667 FAX 03-5349-6677

■『墨田文化の世界を訪ねて』『源氏』

11/3～11/4 函館友の会

【受信一覧】

10/1 全国町並み保存連盟

連盟 たより第14号 入手

10/18 北海道のコミュニティ運動

新聞 第163号 入手

11/1 (財)あしたの日本を創る協会

あした通信 第153号 入手

11/- 台湾地震と熊本県町松合地区

高潮災害への義捐金をお願い

全国町並み保存連盟